



### 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、  
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての  
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

### めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し  
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

### 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

いつかむかし

シブ・ウィーダーバーグ

いつかむかし、  
牛乳が大好きだったわたし。

いつかむかし、

シュテファンの家へいけなかったわたし。

いつかむかし

わたしは、私のお母さんが

この世でたった一人のママだと思ってた。

そしたら みんなほかの人たちにも

ママがあった。

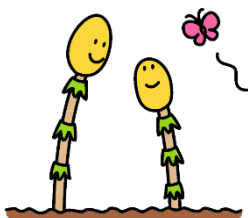
いつかむかし、

わたしが小さかったとき

とても小さかったとき

とてもとてもちびだったとき

世界の子ども詩集 著



今年度の園だよりは、全職員が子どもに対するエピソードをテーマにしてのせました。今月は主任が各クラスに入ったときのエピソードをのせていますが、「子どもって楽しい」「いいなあ」と思いながら目を通しました。保育園は保育士はもちろん、けがや病気、健康面では看護師、食事作りでは栄養士が、それぞれの専門性を生かし、話し合いを重ね協力して子どもと関わっています。子ども一人ひとりが違うように当然のことですが、大人もそれぞれ違います。大切なことは、違う職種どうしが意見を言いあい、相手の意見を聞き受け止め、違いを認めること、相手を信頼することだと思えます。1年間を振り返って子どものメッセージをのせながら、職員の子どもの見る力が育っていることを感じました。保護者の皆さんはどう思われたでしょうか？子どもはいつもその子にあった意味のある行動をしていると思います。それをどう見ていくのかで子どもの情緒的な安定や発達の助けにつながると信じています。すでに懇談会を終えたクラスの保護者のフリートークの中で悩みや頑張っていることが話されました。悩みは当然あることでそのことを話し合える園全体の雰囲気づくりを大切に考えています。いつでも気軽に相談していただけたらと思います。

園長 岡本友子

月	火	水	木	金	土	日
2	3 ひなまつり	4	5	6	7	1 8
9	10	11	12 健康診断	13	14	15
16	17 5才児お別れ遠足※	18	19 身体測定	20	21	22
23	24 新入園児説明会	25 新入園児説明会	26 健康診断	27	28	29
30	31					

※ 3日(金) 幼児 ひなまつり会 (乳児もカメラマンの撮影があります)

※17日(火) 5才児 お別れ遠足 (カメラマンが同行します)

予備日 3月19日(木)

※24・25日(火・水) 新入園児説明会 時間・・・随時

※5才児の卒園式を延期しました。日程は決まり次第お知らせします。

※2月に予定していた5才児懇談会を3月下旬まで延期します。



#### お願い

※保育園を利用する保護者は自転車保険に入ることが義務化されました。保険に加入された方を保育園で把握しなければならないので、後日確認させていただきます。

※ベビーカー置き場が混雑してきました。4月から新入園児の方が利用されることも予想されるので、畳んで置くようにして下さい。



今年も1年間、主任として各クラスの補助に入り子ども達と関わってきた中で・・・

## ～泣いたね、笑ったね、楽しかったね～

久しぶりにひよこ組に入ると顔を忘れてしまったのか、急に泣き出し担任にしがみつく。わらべうたをうたうと、「あ、」という顔になり泣きやみ、じーっと聞いている。うたい終わると、にこっと笑い、もう一回のサインをする。うたで私のことを認識してるのかな…と思いつつも、こうして子ども達との距離が縮まっていく瞬間がたくさんありました。わらべうた大好きなひよこさんたちありがとう。



うまくできないけど、絶対自分でやりたい時期。ついつい手伝ってしまいたくなるがぐっと我慢して「こうやるといいよ」とコツを伝える。それも嫌な時がある。そこで決して手をだしているとは見えないように手伝うというテクニックを駆使して成功した時「すごい！全部自分でできたね！」と言葉をかけると、満面の笑みで返してくれる。そうやって自信をつけていくはと組さんたち。素敵なお顔をありがとう。



私がちょっとした用事であひる組のお部屋をのぞくと、すぐに見つけて「けいこさん！」と声をかけてくれる。そこでちょっと耳を傾けるとおしゃべりがとまらないほど言いたいことがいっぱいのおひるさんたち。ある日、京王ライナーが調布駅で停まる、停まらないの話になり、「時間調整の為に停まるんだよ」と言われました。3才児のボキャブラリーを甘くみてはいけません…と何度思ったことやら。そんなたくさんの楽しい会話をありがとう。



ある日の会話・・・「コウモリ コイ」のわらべうたと一緒にうたったあと、歌詞の中に「ゾウリ（草履）ヤロ」というフレーズがあったので「私が昔、こもりが来た時にビーチサンダルを投げたらコウモリがつかんで持っていったんだよ」という話をしたら

A君が「ビーチサンダルって食べ物？」と言い、B君は「ちがうよ、棒がついて傘がついてるものだよ！」と言うので、それはビーチパラソルです…と笑いをかみしめながら答え、肝腎のこもりの話しはどこかに吹き飛んでしまいましたが… そんな子ども達の思いもよらない発想や言葉に私たちはいつも驚いたり、癒されり、励まされたりの日です。またある日のこと。ひな人形の制作を見せてくれたので、「ぼんぼりがとても素敵だね」と言うと、自分で考えて作ったとのこと。しばらくして幼児のお部屋に行った時、「けいこさんに髪飾りを作った」と持ってきてくれました。担任から「けいこさんがぼんぼりを誉めてくれたから同じ技法で作ったみたいです」という話を聞きました。

何気ない会話をちゃんとおぼえてくれたこと、また、「アジサイをイメージして作った」という素晴らしい髪飾りにも感動しました。また一つ宝物が増えました。物だけではなく目に見えない宝物もたくさんもらえる保育士の仕事。そのおかげでやめられないのかな…。

すすめさん、かもめさん、たかさん元気の素をありがとう。

